

# 三松、ロボ組み立て参入

## 医薬品・食品工場向けに

板金加工や産業機器製造を手がける三松(福岡県筑紫野市)は2012年、本社工場にクリーンルームを新設し、医薬品や食品の工場で使う充填

・梱包ロボットの組み立て事業に参入する。同社はこれまで同ロボット分野では、部品加工を手がけるだけだった。床面積400平方メートル(約5坪)あたり0.5

既存建屋をクリーンルームに改装する。投資額は約2千万円。清浄度は空気が1立方メートル(1坪は約30坪)あたり100万分の1

以上のチリを10万個以下とする「クラス10万」で、医薬品工場並みにする。

組み立て事業への参入で、医薬品・食品工場向けロボット関連の売上高を2013年6月期に現在の2倍に当たる2億円に引き上げる計画だ。

三松の11年6月期の売上高は約14億円。このうち3割を占める半導体・液晶工場向け製造装置の受注は「円高や欧州危機

の影響で、前年に比べ約1割減少している」(田源の多様化を図る。名部徹朗社長)という。